

高齢者を狙った卑劣な特殊詐欺は決して許さない！

地域のチカラを結集した安全なまちづくりを

——瀬田学区自主防犯防災会
はどんな組織ですか？

瀬田学区自主防犯防災会は、平成19年5月に設立しました。自治会や社会福祉協議会、民生委員児童委員、自治連サポート隊、シニアクラブ、シニアサポート隊、子ども安全リーダー、少年補導委員など、様々な人や団体で構成されており、日頃から住民が相互に協力し合い、犯罪や災害の被害を未然に防ぐために取り組んでいます。

——どのような防犯活動に取り組んでいますか？

子どもたちの安全を守るため、小学生の下校時のスクールガード、健全な育成のための見守りや夜間パトロール、不審者等への注意喚起を促す看板の設置、「広報ぼうはん・ぼうさい」の発行・配布による周知啓発等に取り組んでいます。

継続的な取組が地域の安全につながる

——特殊詐欺の被害防止にも取り組んでいらっしゃいますね。

学区の社会福祉協議会から提案で、平成21年4月から始めました。偶数月の15日、年金支給日に、瀬田市民センター近くの複数の金融機関の前で、特殊詐欺の注意喚起を行っています。

地域の方々の特特殊詐欺に対する認識も深まってきており、取組の成果が少しずつ出てきていると思います。

しかし、犯罪者は手口を巧妙化させ私たちが騙そうとしていますので、今後も引き続き、啓発活動に取り組んでいきたいと考えています。

皆で協力しながら地域の安全に取り組みたい

——今後の取組に向けて、お気持ちをお願いします。

私たちの住む瀬田学区は他の



瀬田学区自主防犯防災会

会長 内田 一豊

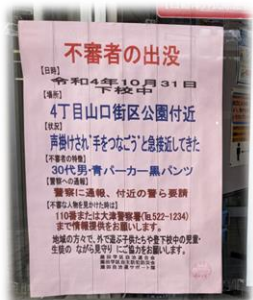
地域と同様に、自治会加入率の低下や、担い手の高齢化などの課題があり、啓発活動が低迷し、防犯・防災意識の低下につながることを危惧しています。

そのため、地域の様々な方々にも参加いただき協力しながら、地域の安全が保たれるよう取り組みたいと思っています。

【取材日：令和4年12月26日】



↑金融機関前での啓発活動の様子



↑市民センターに掲出した不審者に関する情報



↑瀬田幼稚園と協力して作成した飛び出し坊や

